



2021年3月期 決算説明会資料

証券コード：5162

サマリー

- 2021年3月期は、期初からの新型コロナウイルス感染症の拡大による受注減により、減収減益となった。
- 2020年末から自動車市場の回復を受け、自動車向けゴム製品の受注が回復し始める一方で、医療用ゴム製品の一部で在庫調整があった。
- 2022年3月期の業績見通しは、上期は自動車向けゴム製品の受注が堅調に推移する見込みだが、下期は不透明。医療用ゴム製品の在庫調整は第1四半期まで継続の見込みだが、以降回復する見通し。

2021年3月期決算会説明資料 目次

会社概要、海外展開、事業系統図	3～6
-----------------	-----

I. 2021年3月期決算実績

1. 連結決算実績	7
2. 連結子会社の棚卸資産過大計上	8
3. 連結設備投資実績	9
4. 中期事業分野	10
5. 連結セグメント別実績－中期事業分野	11
6. 主要製品実績	12～15
7. 単体損益実績	16
8. 連結子会社の損益実績	17
9. 連結貸借対照表の状況	18
10. 連結キャッシュフロー実績	19
11. 配当実績と予定	20

II. 2022年3月期の見通しについて

1. 経営方針・経営戦略	21
2. 連結決算見通し	22
3. 中期事業分野別見通し	23
4. 主要製品の通期売上見通し	24
5. 設備投資計画	25
6. 配当計画	26

会社概要

会社名	株式会社朝日ラバー
所在地	埼玉県さいたま市大宮区
創業	1970年5月
資本金	5億1,687万円 (2021年3月末現在)
従業員数	325名 (うち正社員313名) (2021年3月末現在)
主な事業内容	工業用ゴム製品の製造・販売
子会社	株式会社朝日 F R 研究所 ARI International Corporation 朝日橡膠 (香港) 有限公司 東莞朝日精密橡膠制品有限公司 朝日科技 (上海) 有限公司



本社

生産拠点

国内は福島県に4つの拠点を設け、それぞれの特徴を活かしたものづくりを進めています。
また海外の拠点とあわせて、お客様に効率的に製品をお届けできる体制を整えています。



精密ゴム製造環境



中国現地調達対応



電子部品対応 CR仕様

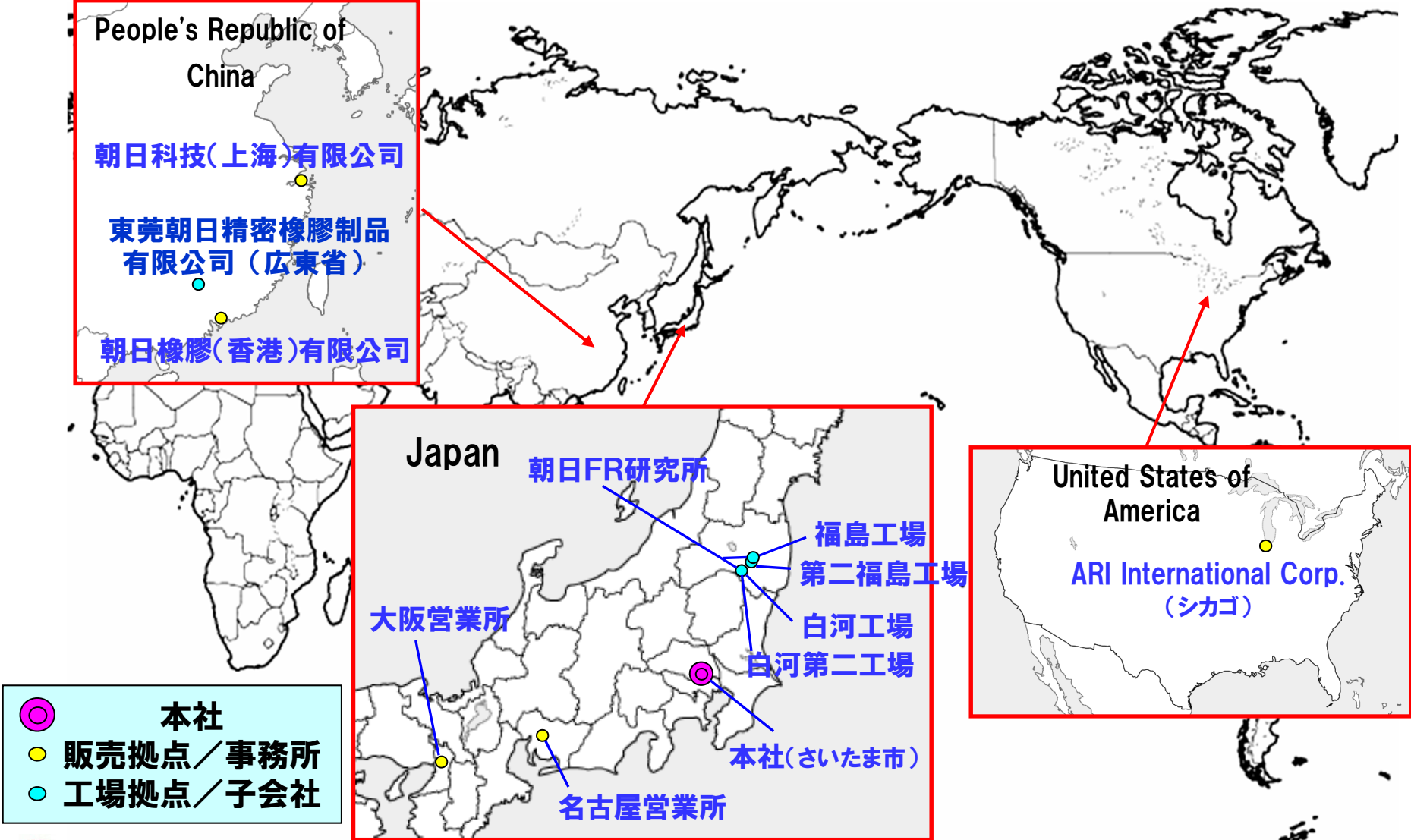


医療ゴム製造環境 水処理仕様

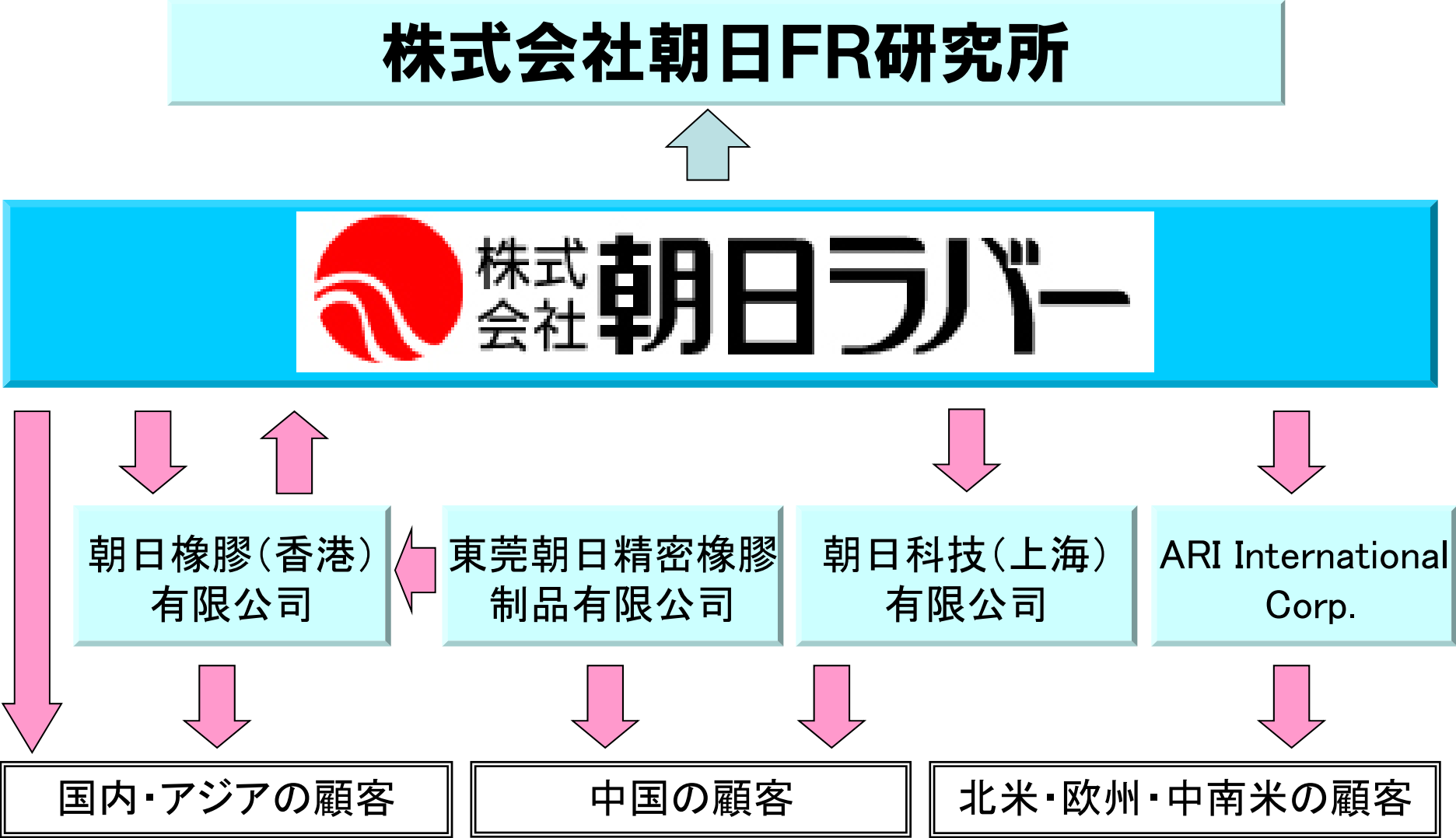


解析・体外診断 CR仕様

海外展開



事業系統図



I-1. 連結決算実績（前期比）

（単位：百万円、％）

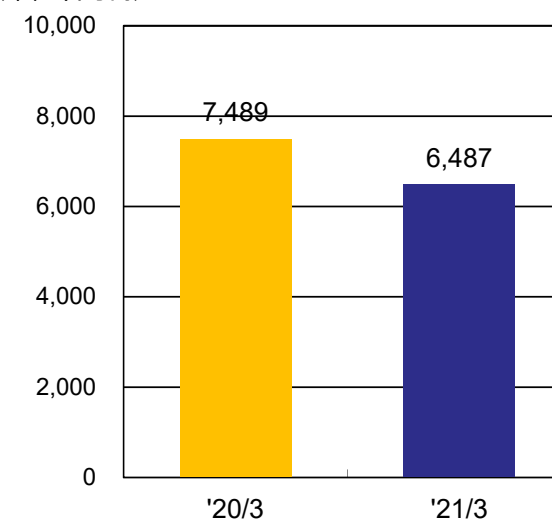
	2020年3月期		2021年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期増減率
売上高	7,489	100.0	6,487	100.0	▲13.4
売上総利益	1,755	23.4	1,254	19.3	▲28.5
営業損益	325	4.3	▲92	-	-
経常利益	346	4.6	18	0.3	▲94.7
当期純利益	126	1.7	113	1.8	▲10.2

- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、受注が減少したため売上高が減少、営業赤字となった。
- 2月13日に東北地方で発生した地震により、福島工場の建屋の一部を補修し、災害による損失として特別損失を23百万円計上、特別利益を受取保険金として21百万円を計上。

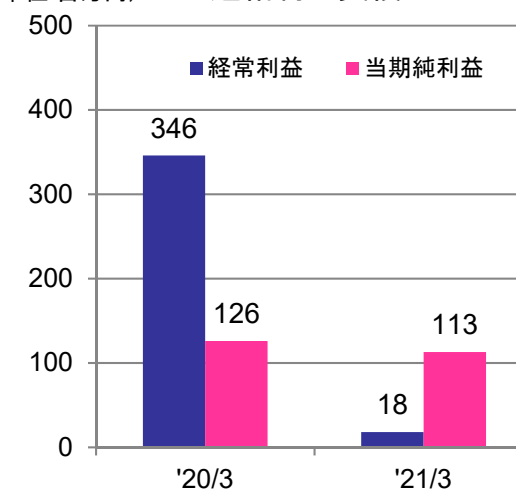
（単位：百万円、％）

セグメント別	2020年3月期		2021年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期増減率
工業用ゴム事業	6,276	83.8	5,336	82.3	▲15.0
医療・衛生用ゴム事業	1,213	16.2	1,151	17.7	▲5.1
売上高	7,489	100.0	6,487	100.0	▲13.4

（単位：百万円） 連結売上高実績



（単位：百万円） 連結利益実績



I-2. 連結子会社の棚卸資産過大計上

昨年、海外子会社の棚卸資産の過大計上が発見され、当連結決算会計期間の第2四半期決算を訂正。（2021年3月15日開示）

（単位：百万円、％）

項目	訂正前(A)	訂正後(B)	影響額(B)-(A)	増減額
売上高	2,849	2,849	-	-
営業損益	▲126	▲179	▲53	-
経常損益	▲75	▲128	▲53	-
四半期純利益	54	7	▲47	▲87.0
総資産	10,451	10,403	▲47	▲0.5
純資産	4,358	4,311	▲47	▲1.1

再発防止策

- ・会計システムの正確な理解および現物管理と数値管理の正確な運用の徹底
- ・当該子会社における責任体制の明確化と連携の強化
- ・当該子会社の管理部門の情報共有化の仕組みづくりと連携の強化と問題発生時の迅速な伝達体制の構築
- ・当社による海外子会社管理体制の強化と情報共有の仕組みづくり

I-3. 連結設備投資実績

設備投資額 266百万円

減価償却費 507百万円

事業分野別設備投資内訳 (単位：百万円)

光学事業	59	シリコンレンズの生産設備など
医療・ライフサイエンス事業	75	採血用・薬液混注用ゴム製品の生産設備移管など
機能事業	54	自動車向け製品の増産投資など
その他	78	白河第二工場の太陽光発電設置など

法人・分野別設備投資内訳

朝日ラバー	214百万円	全事業
東莞朝日精密橡膠製品 他	52百万円	機能事業

I -4. 中期事業分野

光学事業

主な製品：ASA COLOR LED
ASA COLOR LENS
白色シリコンインキ



「感性、共感」をキーワードに、色と光を制御する技術と感性技術を磨き、自動車の内装照明市場から外装照明、またアンビエント照明に向けた技術開発と提案を進める。

機能事業

主な製品：自動車スイッチ用ゴム
卓球ラケット用ラバー
F-TEM (フレキシブルサーモエレクトリックモジュール)



ビークル分野、エネルギー分野、環境発電分野、スポーツ分野において制御技術と触覚・熱・振動・光関連の技術、感性技術を磨き、将来のライフスタイルの実現への貢献に向けて、弾性無限で人に優しい感性価値を提供する。

医療・ライフサイエンス事業

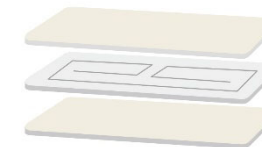
主な製品：プレフィルドシリンジ用ガスケット
採血用・薬液混注用ゴム栓
マイクロ流体デバイス



診断・治療分野、理化学機器分野、介護・予防分野に向けて制御技術と感性技術を磨き、世界の医療現場と患者のQOL (Quality of Life) 向上に貢献する。

通信事業

主な製品：RFIDタグ用ゴム製品
ビーコン

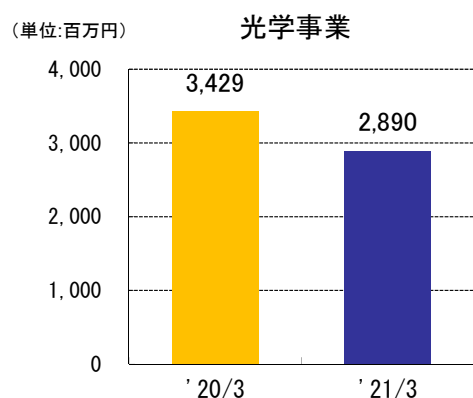


自動認識分野、通信機器分野、センシング分野において、伝える・伝わるセンシング技術、触覚・熱・振動・光関連の技術、感性技術を磨き、ゴムだからこそ実現できる価値を提供する。

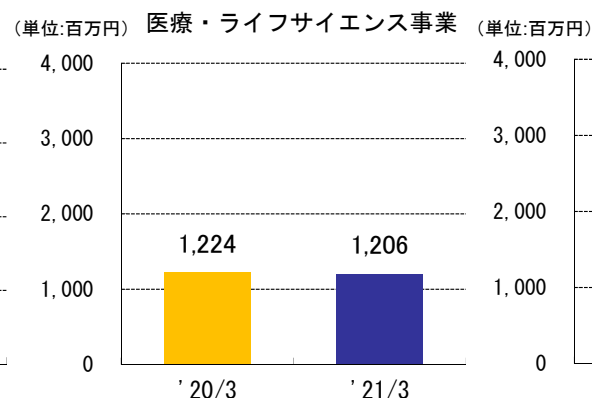
I -5. 連結セグメント別実績 – 中期事業分野

(単位: 百万円、%)

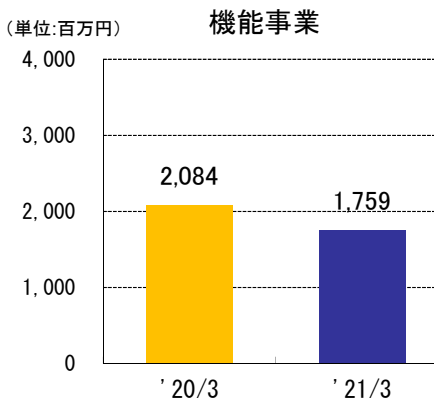
事業別売上高	2020年3月期		2021年3月期		前期増減率
	実績	構成比	実績	構成比	
光学事業	3,429	45.8	2,890	44.6	▲15.7
医療・ライフサイエンス事業	1,224	16.3	1,206	18.6	▲1.4
機能事業	2,084	27.8	1,759	27.1	▲15.6
通信事業	751	10.0	631	9.7	▲16.0
売上高合計	7,489	100.0	6,487	100.0	▲13.4



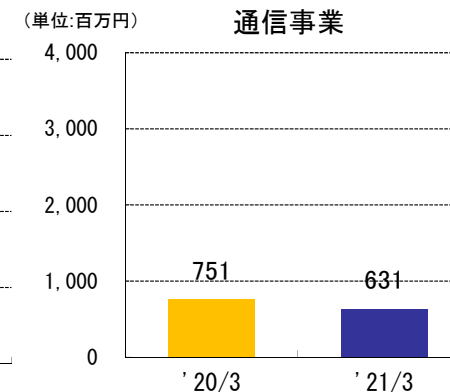
●ASA COLOR LEDの受注は上期に新型コロナウイルス感染症による影響を受けたが年後半から回復傾向。



●医療用ゴム製品の受注は、上期は新型コロナの影響を受けず全般的に好調だったが、年後半から一般医療診療を控える動きから在庫調整あり。



●新型コロナウイルスの影響を受け、受注が低迷していたが、自動車スイッチ用ゴムは年後半から受注が回復傾向、卓球ラケット用ラバーの受注も回復しつつある。



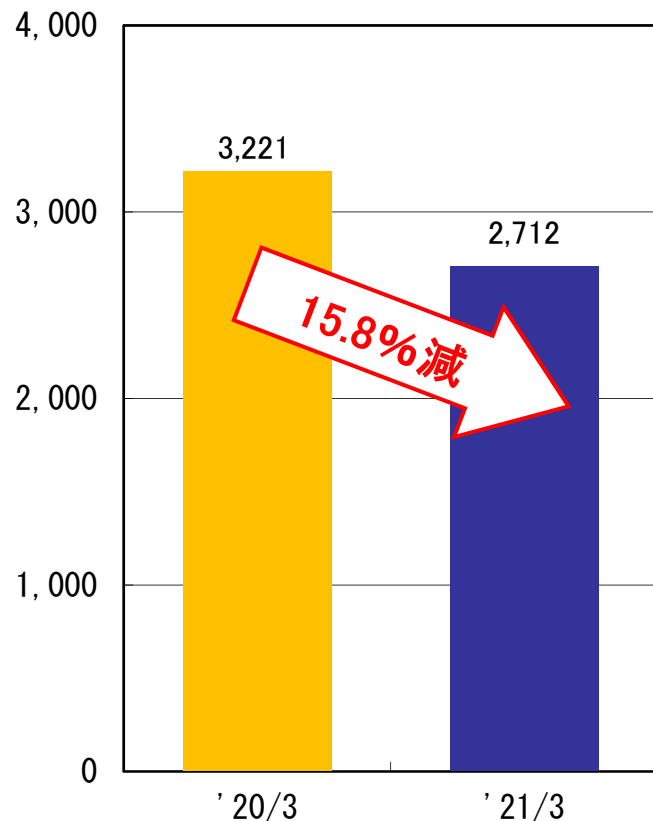
●RFIDタグ用ゴム製品の受注が北米市場での新型コロナの影響を受け減少。

I -6. 主要製品実績 – ASA COLOR LED

工業用ゴム事業

光学事業

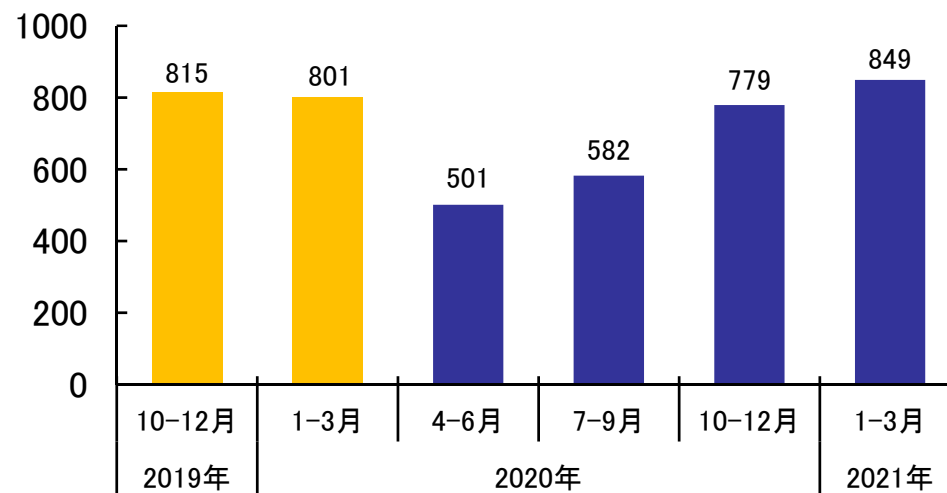
(単位:百万円) 連結売上高推移



ASA COLOR LED

蛍光体を配合したシリコンゴム製のキャップを青色LEDに被せることで10,000色以上の光のバリエーションを提供できる。自動車内装照明や特殊照明向け。

(単位:百万円) 四半期会計期間の売上高推移



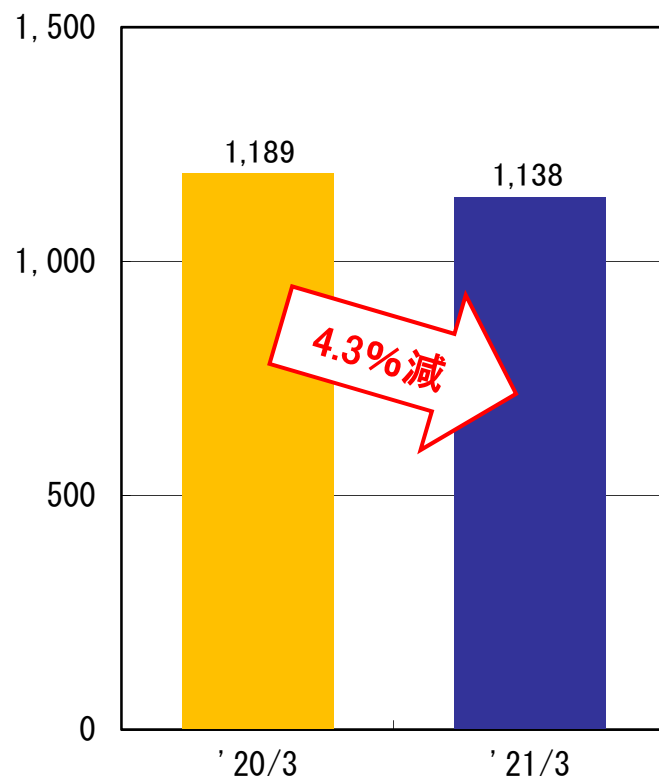
- 上期は新型コロナウイルス感染症による受注減の影響が大きかったが、年後半から受注が回復。

I-6. 主要製品実績－医療用ゴム製品

医療・衛生用ゴム事業

医療・ライフサイエンス事業

(単位:百万円) 連結売上高推移

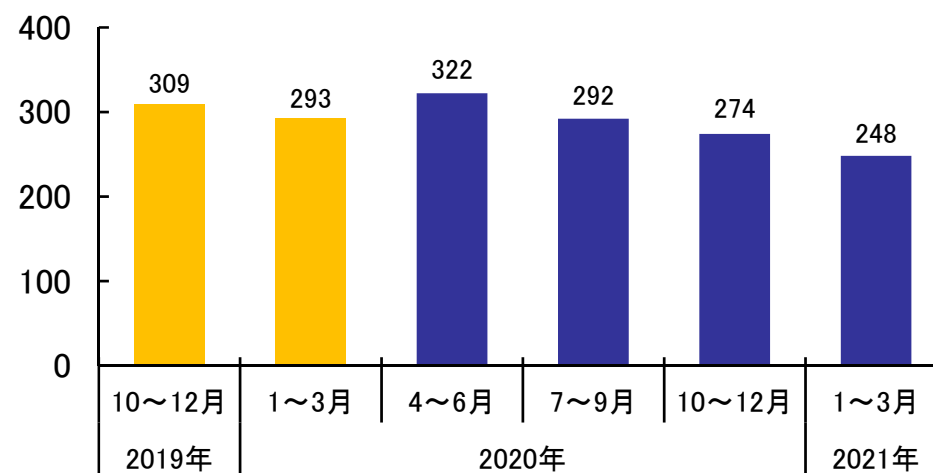


ディスポーザブル用ゴム製品

プレフィルドシリンジ(薬液充填済み注射器)用ガスケット、採血用・薬液混注用ゴム栓など、使い捨てのディスポーザブル用ゴム製品。

四半期会計期間の売上高推移

(単位:百万円)



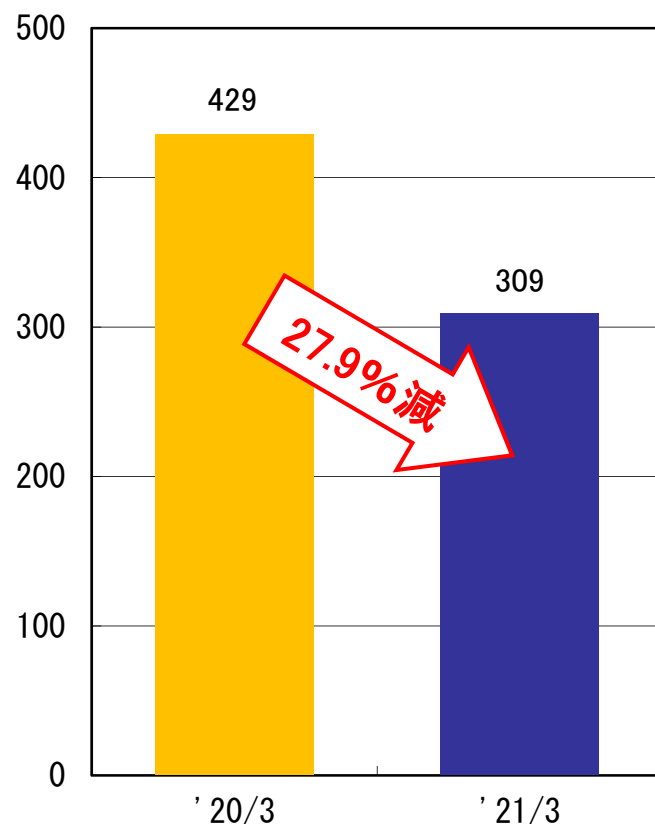
- 上期は新型コロナウイルス感染症の影響を受けなかったが、一般医療の受診控えにより年後半から在庫調整が続く。

I-6. 主要製品実績 – スポーツ用ゴム製品

工業用ゴム事業

機能事業

(単位: 百万円) 連結売上高推移



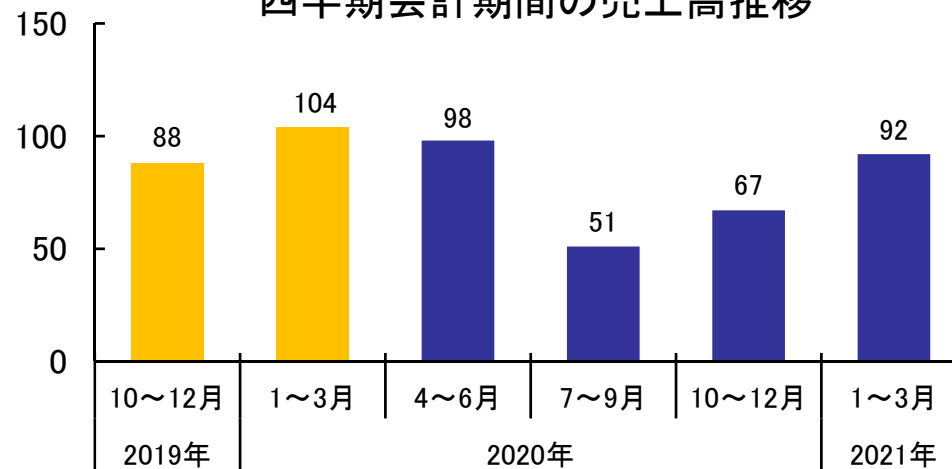
卓球ラケット用ラバー

反発弾性、高摩擦抵抗などを追及した高品質の卓球ラケット用ラバー。



(単位: 百万円)

四半期会計期間の売上高推移



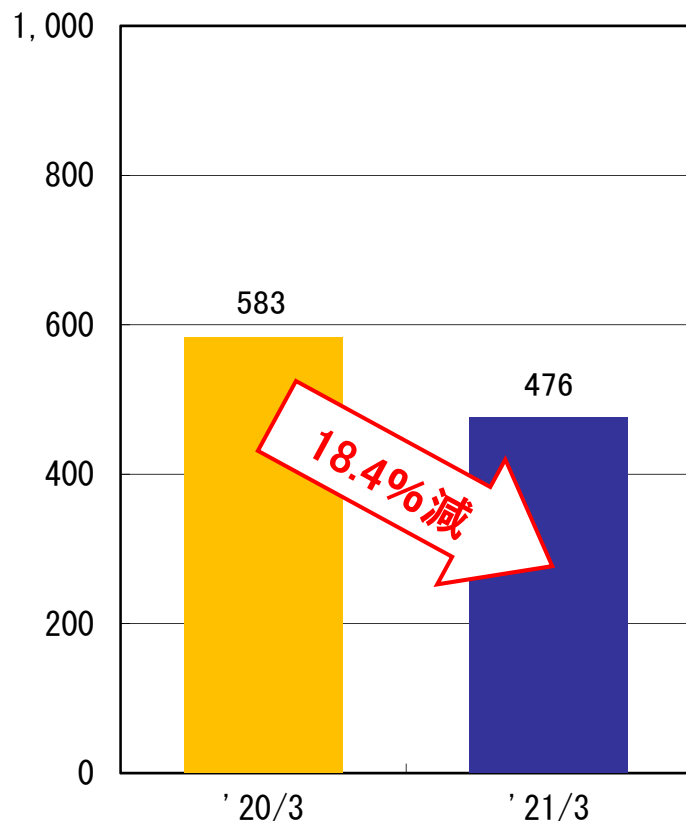
● 新型コロナウイルス感染症による需要減により受注が減少したが徐々に回復傾向。

I -6. 主要製品実績 – RFIDタグ用ゴム製品

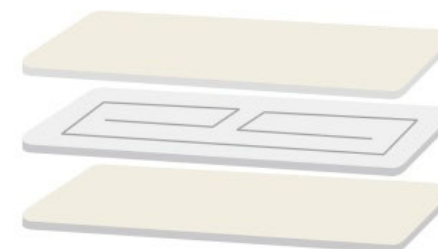
工業用ゴム事業

通信事業

(単位:百万円) 連結売上高推移

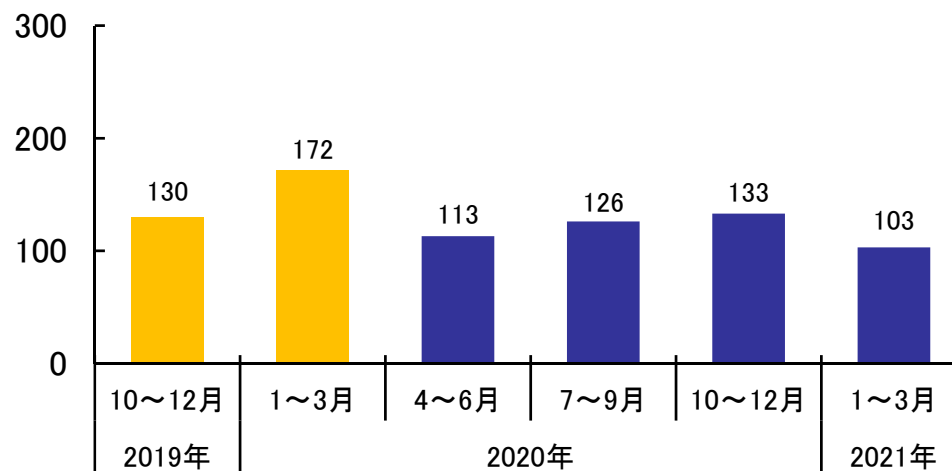


● 溶剤を使わずに接着させる“分子接着・接合技術”を応用し、ICチップやアンテナ部をゴム素材で覆い、折り曲げに強く、耐水性、耐熱性に優れた、柔らかい小型のICタグ。



RFIDタグ用ゴム製品イメージ

(単位:百万円) 四半期会計期間の売上高推移



● 新型コロナウイルス感染症による影響を受け、需要が低迷し受注が減少。

I-7. 単体損益実績

(単位:百万円、%)

	2020年3月期		2021年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期増減率
売上高	6,938	100.0	6,050	100.0	▲12.8
売上総利益	1,464	21.1	1,113	18.4	▲24.0
営業損益	246	3.5	▲53	-	-
経常利益	300	4.3	83	1.4	▲72.2
当期純利益	79	1.1	174	2.9	120.0

新型コロナウイルス感染症対応

- 雇用調整助成金を69百万円を受領し、営業外収益の補助金収入として計上。
- 2020年8月に保有有価証券の売却により、特別利益として投資有価証券売却益を計上。

I -8. 連結子会社の損益実績

(単位：千円)

	株式会社朝日 F R 研究所		ARI INTERNATIONAL Corp.	
設立	1987年4月		1999年6月	
資本金	10,000,000円		200,000米ドル	
業務内容	ゴム・プラスチックに関する研究		工業用ゴム製品の販売	
研究収入／売上高	163,424	前期増減率	129,506	前期増減率
		20.5%		▲20.2%
経常損益	2,906	▲31.8%	▲12,002	-
当期純損益	2,165	▲22.4%	▲29,995	-

円換算レート：1米ドル106.44円

	朝日橡膠（香港）有限公司		東莞朝日精密橡膠制品有限公司		朝日科技（上海）有限公司	
設立	2005年11月		2010年7月		2012年1月	
資本金	19,700,000香港ドル		17,551,530人民元		50,000,000円	
業務内容	工業用ゴム製品の販売		工業用ゴム製品の製造・販売		工業用ゴム製品の開発・設計・販売	
売上高	311,961	前期増減率	584,362	前期増減率	253,659	前期増減率
		▲21.7%		▲18.6%		0.7%
経常損益	31,373	▲12.1%	▲5,684	-	13,681	112.4%
当期純損益	29,026	▲11.2%	▲5,684	-	12,997	112.5%

円換算レート：1香港ドル13.72円

円換算レート：1人民元15.42円

円換算レート：1人民元15.42円

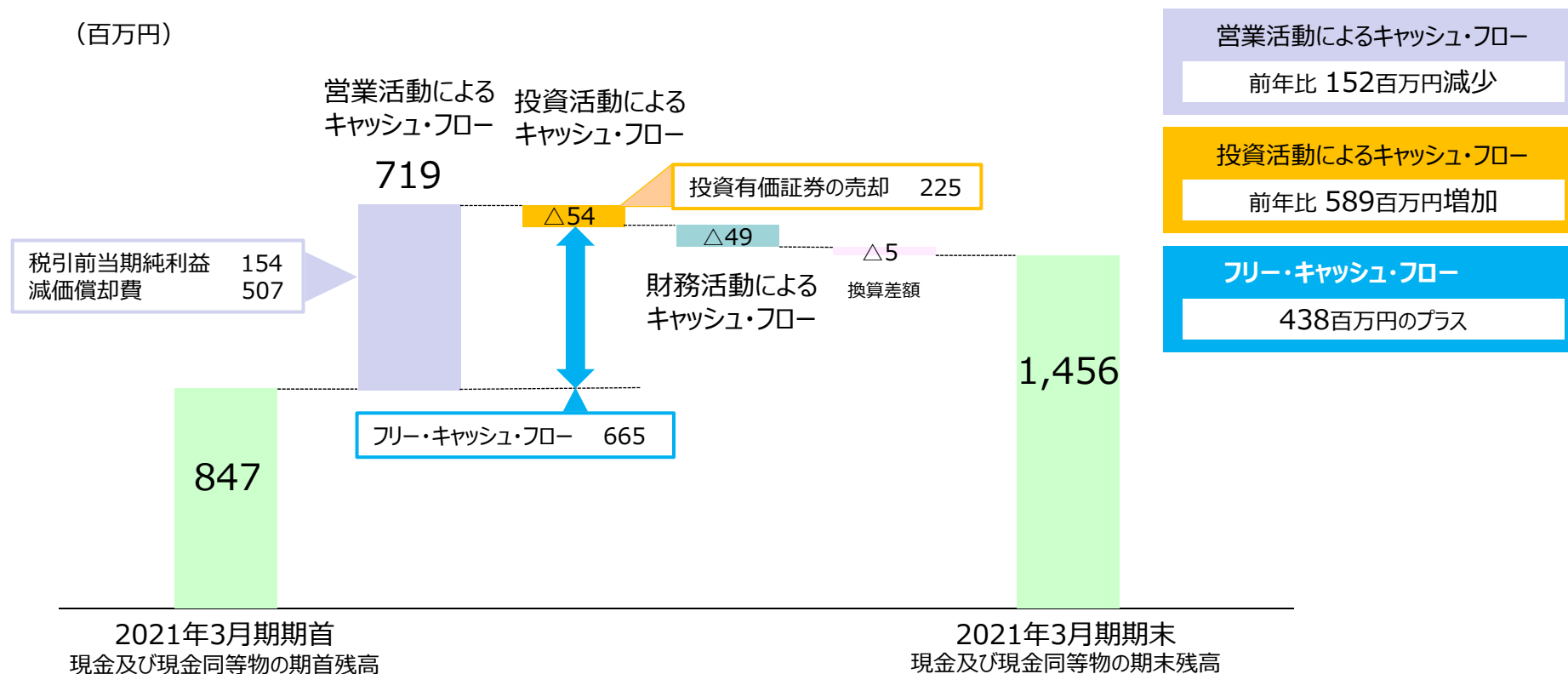
I -9. 連結貸借対照表の状況

(単位:百万円)

	2020年 3月末残高	2021年 3月末残高	差	主な変動理由
流動資産	5,305	5,706	+401	現金及び預金 +643百万円 商品及び製品、仕掛品 ▲147百万円
固定資産	5,089	4,634	▲455	機械装置及び運搬具 ▲233百万円 投資有価証券 ▲202百万円
資産合計	10,395	10,341	▲53	
流動負債	2,946	2,898	▲47	買掛金等 ▲89百万円
固定負債	2,992	3,011	+19	
負債合計	5,939	5,910	▲28	
純資産合計	4,456	4,430	▲25	
負債純資産合計	10,395	10,341	▲53	

I -10. 連結キャッシュフロー実績

(百万円)



●新型コロナウイルス感染症による受注減少の影響を受け、手元資金を確保するため、投資有価証券の売却を実施。

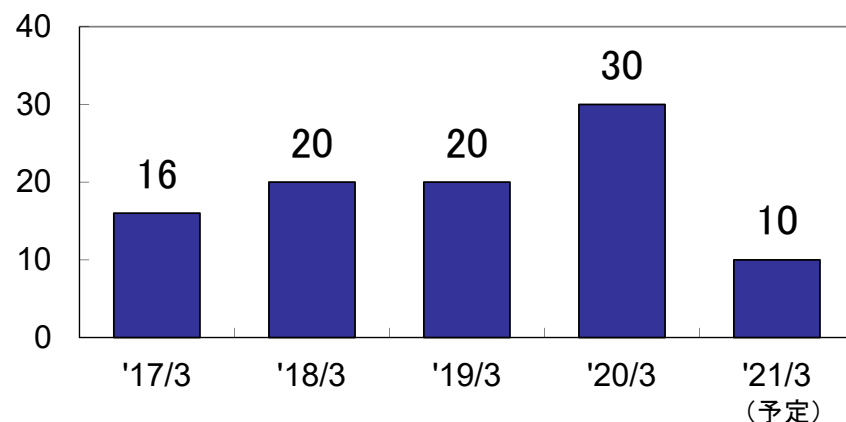
I -11. 2021年3月期配当予定

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
中間配当	10円	10円	—
期末配当	10円	※20円	10円 (予定)
年間	20円	30円	10円 (予定)

※2020年3月期の期末配当は普通配当10円と記念配当10円を実施

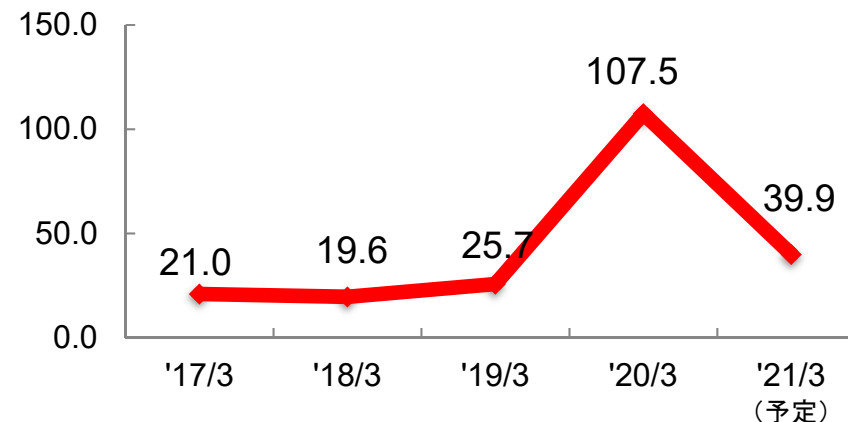
(単位:円)

一株当たり配当金推移



(単位:%)

連結配当性向推移



- 2021年3月期の中間配当は、業績悪化のため無配。期末配当は業績回復を反映し、一株当たり10円を予定。

Ⅱ-1. 2022年3月期 経営方針・経営戦略

経営方針

みんなにうれしさをお届けしよう

経営戦略

- 1. 事業の魅力を高めて出口をつかむ**
- 2. 気づきを高めて課題を解決する**
- 3. ESG経営を推進する**

II-2. 2022年3月期連結決算見通し（前期比）

（単位：百万円、％）

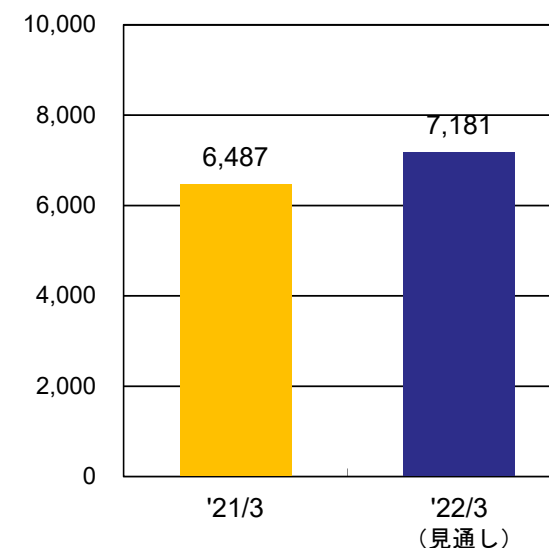
	2021年3月期		2022年3月期見通し		
	実績	構成比	見通し	構成比	前期増減率
売上高	6,487	100.0	7,181	100.0	10.7
売上総利益	1,254	19.3	1,711	23.8	36.3
営業損益	▲92	-	283	3.9	-
経常利益	18	0.3	281	3.9	1,438.6
当期純利益	113	1.8	210	2.9	84.6

- 自動車向けゴム製品の受注が回復基調。
- 売上高の増加に伴い利益も増益を見込む。

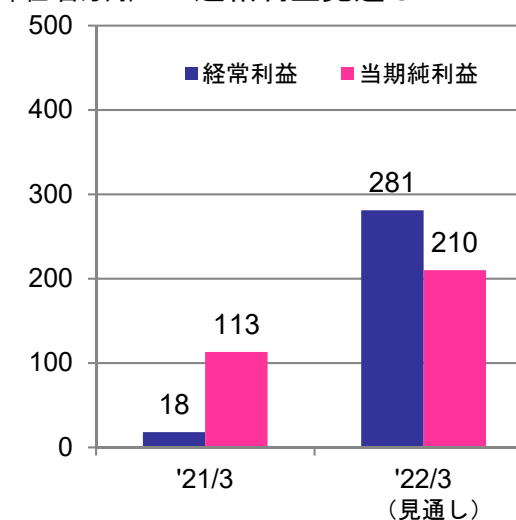
（単位：百万円、％）

セグメント別	2021年3月期		2022年3月期見通し		
	実績	構成比	見通し	構成比	前期増減率
工業用ゴム事業	5,336	82.3	6,048	84.2	13.3
医療・衛生用ゴム事業	1,151	17.7	1,133	15.8	▲1.6
売上高	6,487	100.0	7,181	100.0	10.7

（単位：百万円） 連結売上高見通し



（単位：百万円） 連結利益見通し



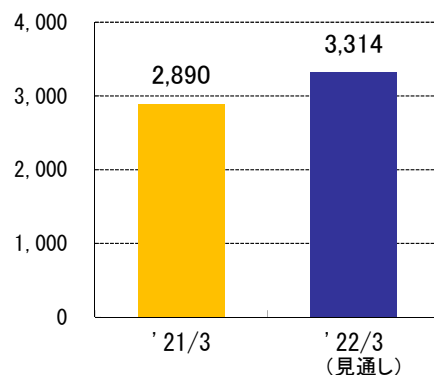
II-3. 中期事業分野別見通し

(単位:百万円、%)

事業別売上高	2021年3月期		2022年3月期		
	実績	構成比	見通し	構成比	前期増減率
光学事業	2,890	44.6	3,314	46.1	14.6
医療・ライフサイエンス事業	1,206	18.6	1,139	15.9	▲5.6
機能事業	1,759	27.1	2,324	32.3	32.1
通信事業	631	9.7	408	5.7	▲35.4
売上高合計	6,487	100.0	7,181	100.0	10.7

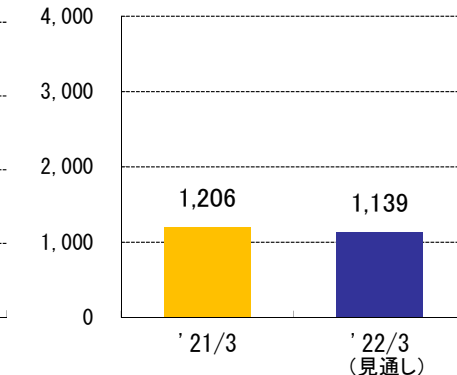
(単位:百万円)

光学事業



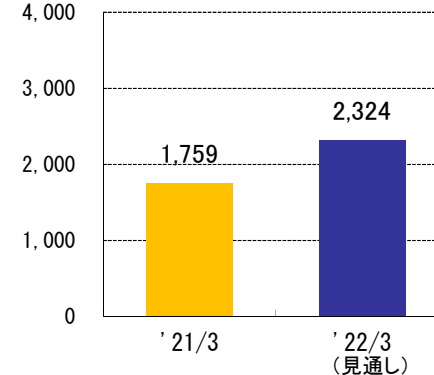
●ASA COLOR LEDの受注は自動車市場の回復を受け受注増。

(単位:百万円) 医療・ライフサイエンス事業



●一部の医療用ゴム製品の在庫調整は、第1四半期まで継続の見込みだが、以降回復の見通し。

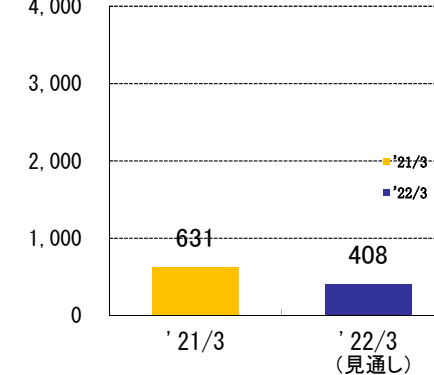
機能事業



●スイッチ用ゴムなど自動車向けが市場の回復を受け受注増。卓球ラケット用ラバーの受注も徐々に回復する見通し。

(単位:百万円)

通信事業



●RFIDタグ用ゴム製品の受注が北米市場での新型コロナの影響を受け、低水準で推移する見通し。

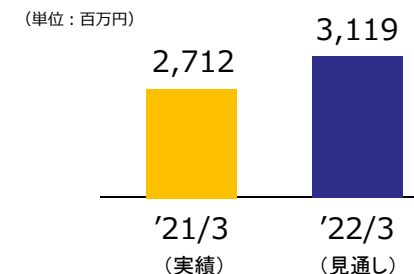
Ⅱ-4. 主要製品の通期売上見通し

ASA COLOR LED

工業用ゴム事業

光学事業

- ・自動車市場の回復傾向に伴い、受注が回復。
- ・2021年度は、自動車市場のグローバル市場の動向の先行きに不透明感あり。

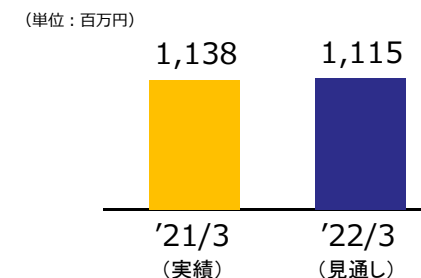


医療用ゴム製品

医療・衛生用ゴム事業

医療・ライフサイエンス事業

- ・採血用・薬液混注用ゴム栓の受注は堅調に推移。
- ・一部の用途の製品の在庫調整は第1四半期まで継続、以降回復する見通し。

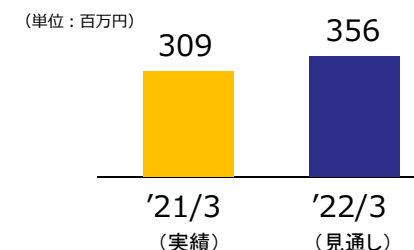


卓球ラケット用ラバー

工業用ゴム事業

機能事業

- ・競技の再開により徐々に受注は回復傾向。
- ・2021年度は、東京五輪や世界大会の開催状況に影響を受ける可能性あり。

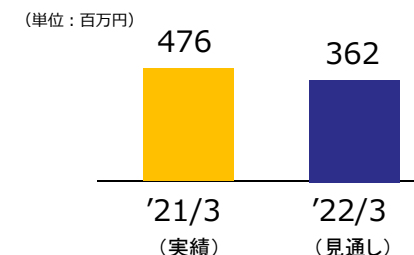


RFIDタグ用ゴム製品

工業用ゴム事業

通信事業

- ・北米市場の回復が見通せず、受注は低水準で推移する見通し。
- ・収益認識基準の変更により、売上高計上が約1億円減少する見込み。



II-5. 2022年3月期連結設備投資計画

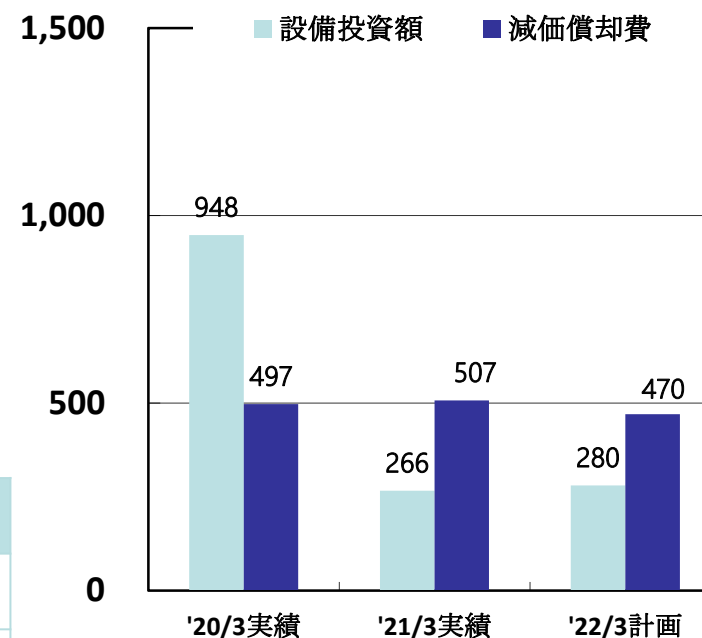
設備投資額 約280百万円

減価償却費 470百万円

(単位:百万円)

事業分野別設備投資内訳	
光学事業	95百万円
医療・ライフサイエンス事業	55百万円
機能事業	100百万円
通信事業	30百万円

法人・分野別設備投資内訳		
朝日ラバー	240百万円	全事業
東莞朝日精密橡膠制品	40百万円	機能事業



- 光学事業はASA COLOR LEDの工法開発とシリコンレンズの生産設備増強を計画。
- 機能事業は自動車向けゴム製品の受注増に対応する生産設備の増強を計画。

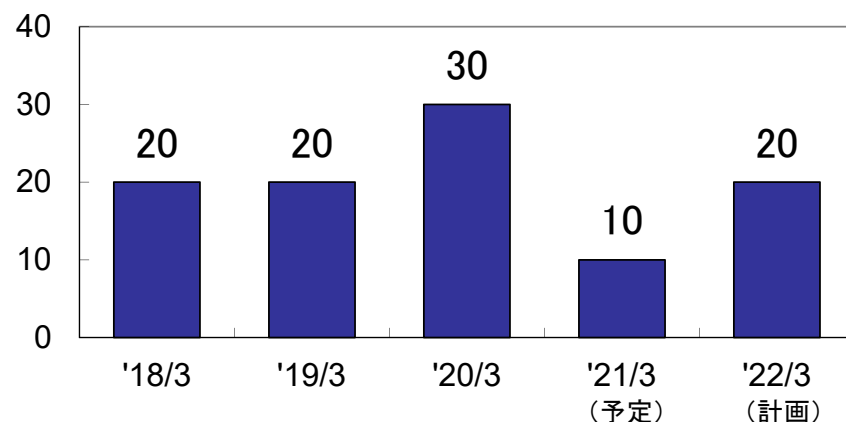
II-6. 2022年3月期配当計画

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
中間配当	10円	—	10円 (計画)
期末配当	※20円	10円 (予定)	10円 (計画)
年間	30円	10円 (予定)	20円 (計画)

※2020年3月期の期末配当は普通配当10円と記念配当10円を実施

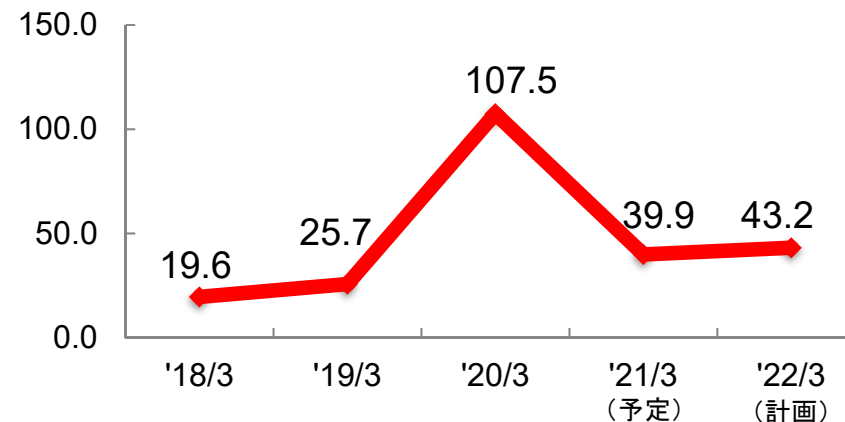
(単位:円)

一株当たり配当金推移



(単位:%)

連結配当性向推移



- 2021年3月期より業績が回復する見通しであることから、中間配当を復配し一株当たり10円、期末配当も一株当たり10円を計画。

お断り

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。

当資料についてのお問い合わせ先
株式会社朝日ラバー 管理本部経営企画部
TEL 048-650-6056